

令和3年5月10日（月）

全国知事会 新型コロナウイルス緊急対策本部（第22回）における丸山知事 発言（要旨）

1. 新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金の特別枠（事業者支援分）の創設について

（全国知事会の）提言の働きかけのおかげで、（全国で）5000億円、そのうち即時執行分が3000億円といった形での事業者支援分の配分をしていただいたことに関して、飯泉会長、平井本部長代行に対し、力添えに心から感謝申し上げます。

2. まん延等重点措置の適用の迅速な対応について

再三、他県の知事からもお話があったとおり、まん延等防止重点措置の適用を迅速に、ということについて申し上げます。

島根県の感染状況は第3波並みであるので、直ちに（まん延防止等重点措置の適用を求めると）いう状況ではないが、我が事として考えると、現状のような（スピード感に欠ける）対応は、もともと法律改正が行われた趣旨から大きく外れている。

まん延しきらないと適用してもらえない重点措置だと、傍目からは見える。まん延を防止するための措置であったはずであり、法律改正の趣旨、意図からしても外れた運用をされており、早急に是正されるべき。

3. 雇用調整助成金の助成率引き下げについて

5月以降、雇用調整助成金の助成率が（緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の適用地域以外の島根県を含む全国的な措置では）引下げになっているという状況を早急に改善していただきたい。

4. 補正予算の編成について

今年度当初予算の予備費5兆円で足りる状況なのか。

第3波の（飲食店等に対する）時短（要請）の関係（協力金）だけで、確か3兆6000億円～7000億円が全国で使われたことなどを見ると、5兆円のお金があるというわけではない（第4波においても全国各地で休業や時短が要請されており、第3波と同様に巨額な支出が見込まれる）状況であり、国は財政的な理由でいろんなものを抑制しなければならず、やるべきことをやらなくなっているのではないかと、私自身は疑っている。

国会の会期は来月半ばまでであり、一地方議会選挙のために延長しないということであれば、私としては理解しないが、それ（延長しないという方針）が変えられないとするのであれば、少なくとも予備費を数兆円積み増すような最低限の補正予算を編成して、今国会の閉会に臨まないと大変なことになると感じている。

（提言案の）内容として、「補正予算」を盛り込んでいただいているので、そういった危機感、様々な影響が生じかねないということも含めて、（国に対して）強く訴えていただければと思う。